

PRESIDENT'S MESSAGE

RI 会長メッセージ

RI 指定記事

教育を通じた平和

私の RI 会長への就任は、突然かつ予期せぬ形で訪れました。この出来事を通じて、世界は一瞬で変わるものだという事、そんな変化の中でも、ロータリーは常によりことをするために安定した力を持っていることを再認識しました。今月は「基本的教育と識字率向上月間」です。私たちに課せられた使命は明確です。私たちが奉仕する地域で、人類の学びの土台を支えることです。

世界には、文字を読めない人が何百万人もいます。基本的教育を受けられない子どももいます。しかし、私たちはその解決法を知っています。持続可能で、インクルーシブで、公平な教育です。特に女兒と社会から取り残された若者のための教育は重要です。識字とは、単に読み書きができる能力ではありません。人間の尊厳、経済的な自立、平和への鍵となるものです。本を開くこと、教室を設けること、教師を養成すること、その全てが平和の礎となるのです。

今年のロータリーのメッセージは、「よいことのために手を取りあおう」です。「手を取りあう」とは、私たちが互いの中に見出す強さを表しています。クラブ同士だけでなく、パートナー、組織、地域社会と手を取りあったとき、私たちは参加者の基盤を拡大することができます。これらを継続的に行うことで、永続的な変化をもたらすことができます。ロータリーの奉仕は年次目標だけで測ることはできません。教育分野での私たちの活動は、1 年で終わるものではないのです。識字率向上プロジェクトは、根付き、成長し、実りをもたらすには時間がかかります。

今こそ大胆かつクリエイティブに考える時です。新しい形のクラブは、教育者、学生、支援者を巻き込む新たな方法になります。今月は、教育への情熱を持つ新しい会員を

迎え入れ、既存会員には地域のニーズを反映した奉仕プロジェクトを実施できるよう支援しましょう。図書館の建設、教科書の配布、学生の指導など、どんな行動でも意味ある一歩です。

教育はまた、平和の構築でもあります。私たちが提供する奨学金、支援する幼児教育プログラム、成人向けの識字教室への資金提供は、平和のための活動です。ロータリーは 100 年以上にわたり、このような方法で平和を築いてきました。

識字という課題において、単に「教育の機会を提供する」だけでなく、「教育の公平性」を追求する必要があります。どのような背景にある人でも、学びのチャンスが等しく与えられるべきです。そして、国境、言語、世代を超えて、教育は特権ではなく権利であるということを私たちは一つになって主張することも必要です。

持続的な識字率向上の実現に向けて行動し、よいことのために手を取りあいましょう。全ての子どもが文字を読むことができる世界を夢見て、私たち世界を変える行動人が、この夢を実現するために協力しましょう。

教育の力を活用して、人々の人生を豊かにすることが可能です。共に、よいことのために手を取りあいましょう。

フランチェスコ・アレツツォ

2025-26年度 国際ロータリー (RI) 会長